

社員とのかかわり

社員に対する基本的な考え方

理想科学の企業活動を支えているのは多くの社員です。社員がいきいきと働き、より大きな力として成長することが、企業の成長につながるという考えのもと、職場環境の整備を行っています。

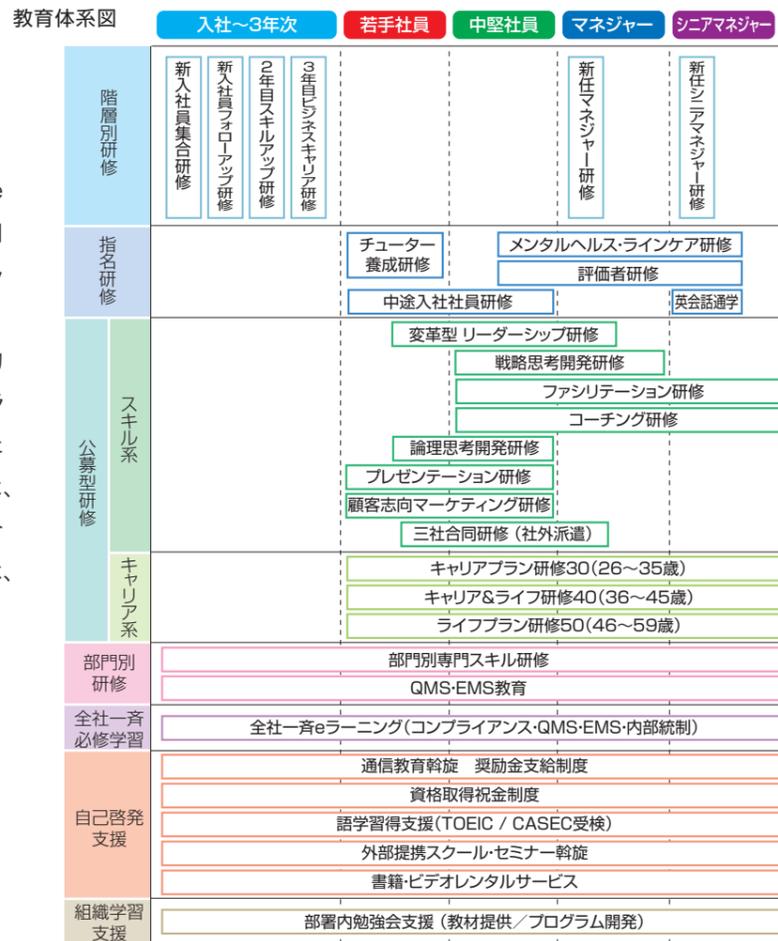
社員の個々の多様な能力を向上させ発揮する機会を提供するとともに、一人ひとりがあらゆる場で創造し、チャレンジし、成長していくための風土づくりを大切にしています。

社員の成長をサポートする教育制度

階層、年代、意欲に応じた各種研修を整備し、社員の能力向上を支援

日々の業務を通じたスキルアップ(On the Job Training)を基盤に、階層別研修、部門別の専門教育、年代別のキャリアプラン・ライフプラン研修などを実施しています。

また、自らの能力・スキルアップに意欲的な社員を支援する各種の自己啓発プログラムを整備しています。2006年度に新設した「資格取得・検定受験支援(祝金制度)」は、会社が指定する資格・検定を取得した場合に、祝金が支給されるもので、2010年度は、延べ200件の祝金が支給されました。



一般向けから専門教育まで、幅広い環境教育プログラム

社員一人ひとりの環境意識の向上と環境保全活動の実践につなげることを目的に、一般向けから内部監査員教育やEMS外部資格教育・研修などの専門教育まで、幅広いプログラムを整備して環境教育・研修を行っています。

また、環境方針や部門の取り組み状況を多くの社員が目にするように、事業所や部署内の共通掲示板に掲示したり、全社で共有すべきデータや環境目的・目標の進捗状況を

社内イントラネットに掲示したりして周知を図るなど日常的な啓発活動にも注力しています。

2010年度は、内容を改め、全社員向けにeラーニング形式で実施された一般環境教育をはじめ、内部監査員教育や業務の研修を実施しました。

【データ編P.33】
表8 環境教育実施内容(2010年度)

ワークライフバランス支援

仕事と生活の両立を支援する福利厚生・各種休業制度

結婚、出産・育児、介護などの事情で、勤務時間や勤務内容の変更が必要になった場合でも、ワークライフバランスを保てるように仕事と生活の両立を支援するフレックス時間勤務、育児休業制度、介護・看護休業制度、福利厚生制度など

の各種制度を設けています。

また、ノー残業デーの導入や残業削減ポスターの掲示、放送による案内などを通じて、残業時間の削減を進め社員が仕事と生活のバランスを取れるよう支援しています。

育児と仕事の両立を支援

1992年に「育児休業制度」を設け、女性・男性社員ともに活用できる環境を整備しています。また、3歳未満の子を持つ社員は、勤務の時間や開始時刻を変更できる短時間勤務制度を利用することができ、育児と仕事の両立を支援しています。2010年度の育児休業制度の利用者は、28名(うち男性2

名)で延べ2,799日取得しています。また短時間勤務制度は、28名の社員が利用しました。

【データ編P.33】
グラフ9 育児休業制度利用者数

安全で働きやすい職場環境の整備

地震や事故など、緊急時に備えた訓練・教育

地震や事故に備えるため、火災などを想定した総合防災訓練を事業所ごとに毎年実施しています。また、特定の工程や作業について、油の流出など緊急時を想定した緊急時対応訓練を実施しています。

訓練を通じて確認した課題や問題点は、緊急時の行動計画の見直し、備品の拡充、設備の改善などによって是正しています。また、これらの訓練を繰り返し実施することにより、地震や事故に対し、迅速かつ適切な対応ができるようにしています。

安全衛生の確保

各生産事業所では、「安全衛生委員会」を設け、職場環境整備、不安全箇所の発見と是正、「ヒヤリハット*1の活動」などを行い、事故・災害防止に努めています。また、社内イントラネットに「安全衛生」のページを設け、社員の安全意識の啓発・教育を行っています。

2010年度は国内の労働災害発生件数は、7件(度数率*2: 1.98、強度率*3:0.0)で、2009年度比で1件減少しました。

労働災害による労働損失日数は0日を継続しました。

また、化学物質の管理に関する手順書を作成し、取り扱い・保管・管理に携わる社員への教育を実施しています。

【データ編P.33】
グラフ10 労働災害発生件数
および度数率・強度率

*1 ヒヤリハット:「ヒヤリとしたこと」「ハッとしたこと」をもとに不安全な行動や危険な場所・作業などを修正して、社員の安全を確保する活動。
*2 度数率:100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生頻度を表す。
*3 強度率:1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。